4　研究構想図

運動に親しむ資質と
能力の基礎を育てる

体力の向上

健康の保持増進

勢いのある鳥取の体育 ～はずむ心　豊かな学び　確かな力～

「勢い」…　生き生きと目を輝かせ，自発的・自主的に課題に取り組んでいる
基礎的な技能や知識を習得し，習得した技能や知識を活用している
運動の楽しさや喜びをしっかり味わい，拍手や歓声があがっている
インストラクション場面などが効果的に設定され，運動量が確保されている

はずむ心
豊かなスポーツライフを志向していく上での内発的動機付け

確かな力
活用・探究力　自己学習力　知識　態度　技能
コミュニケーション力　論理的思考力　…

豊かな学び

「豊かな学び」を展開することで，子ども達に「確かな力」を身につけさせるとともに，生涯にわたって運動に親しむ態度や意欲（「はずむ心」）を育成することを目指す。そのために，「勢いのある鳥取の体育」を推進していく。

視点④ 言語活動の充実

【研究の重点例】
- 学習・作戦カード等の活用
- ふりかえりボード等の活用
- 準教科書等の活用
- 教師の指導言の検討
- ペア学習等の充実

…など

視点⑤ 形成的授業評価やデータを生かした授業改善

【研究の重点例】
- 体育のアンケートによるデータ分析
- 記録による授業評価
- ふりかえりボード等の活用

…など

視点① 学習内容の明確化

【研究の重点例】
- 身につけさせたい力の検討
- 系統性を踏まえた指導
- 一単位時間毎の学習内容の細分化
- 指導計画の作成，修正

…など

視点② 学習過程の工夫

【研究の重点例】
- 「習得」「活用」「探究」を意識した指導過程の工夫
- 身につけさせたい力を意識した指導過程の工夫
- 系統性を踏まえた指導

…など

視点③ 効果的な指導（仮題）

【研究の重点例】
- 場の設定や教具の工夫
- 教師の指導言の工夫
- ミニゲームの開発，活用
- ICT の活用

…など

はずむ心
運動への欲求

内容的条件

①学習内容が明確である
②系統性を踏まえた指導がなされている
③学習過程が工夫されている
④言語活動の工夫と充実が図られている
⑤教材や場づくりの工夫が見られる
⑥多様な学習方法がある
⑦教師の指導性がある

基礎的条件

①運動の学習時間が十分に確保されている
②学習規律が確立している
③指導者の肯定的な働きかけがある
④児童によい人間関係がある